

## 記号の説明

記号	記号の名称	記号の解説
$I_s$	構造耐震指標	建物の耐震性能を表す指標。 各階、各方向(X、Y)毎に建物の強度や粘り強さ、形状、経年変化などを考慮して算出する。数値が大きい程耐震性能は高い。
$I_{SO}$	構造耐震判定指標	想定した地震に対して必要とされる建物の耐震性能を表す指標(基準値)。
$C_T \cdot S_D$ $C_{TU} \cdot S_D$	累積強度指標( $C_T$ ) 終局限界における累積強度指標( $C_{TU}$ ) 形状指標( $S_D$ )	建物の強度を表した指標。 各階、各方向(X、Y)毎に算出し、粘り強さだけでなく一定の強度があることを確認する。
$q$	保有水平耐力に係る指標	
$Z$	地域指標	地震活動度や、地震動強さを考慮するための補正係数。
$R_t$	震動特性係数	建物の固有周期及び地盤の種別に応じた建物の振動特性により、地震力の値を補正させる係数。
$G$	地盤指標	地盤、地形、地盤と建物の相互作用を考慮するための補正係数。
$U$	用途指標	建物の用途を考慮するための補正係数。
$Q_u/a \cdot Q_{un}$	保有水平耐力( $Q_u$ ) 必要保有水平耐力の補正係数( $a$ ) 必要保有水平耐力( $Q_{un}$ )	建物の耐震性能を表した指標。 各階、各方向(X、Y)毎に建物の強度や粘り強さ、形状、経年変化などを考慮して算出する。数値が大きい程耐震性能は高い。
$GIs$	構造耐震指標	上記指標( $Q_u/a \cdot Q_{un}$ )に、建物に要求される機能に応じた重要度の考えを加えて、建物の耐震性能を表した指標。 数値が大きい程耐震性能は高い。